



[HOME](#) > [学術ニュース&トピックス](#) > [プレスリリース](#) > [2017年](#) > 南極ドームふじ・ドームCアイスコアの降雪堆積率比を精密決定 ～氷期・間氷期サイクルにおける南極氷床上の降水分布と変動プロセスの解明へ～

## プレスリリース

- 2017
- 2016
- 2015
- 2014
- 2013
- 2012
- 2011
- 2010
- 2009

■ [学術ニュース&トピックス一覧](#)

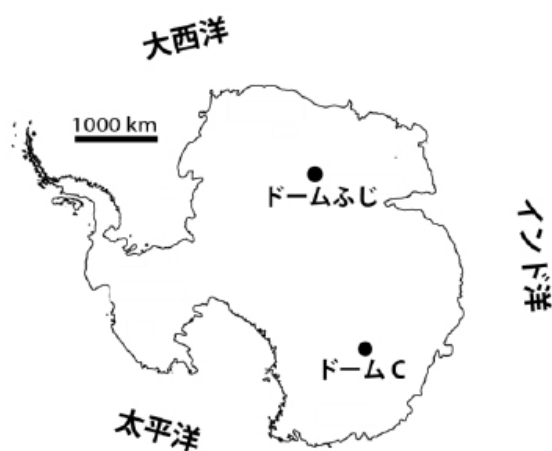
➔ [プレスリリース一覧](#)

➔ [研究トピックス一覧](#)

## 南極ドームふじ・ドームCアイスコアの降雪堆積率比を精密決定 ～氷期・間氷期サイクルにおける南極氷床上の降水分布と変動プロセスの解明へ～

2017年2月8日

国立極地研究所  
東京大学大気海洋研究所  
海洋研究開発機構  
琉球大学



南極大陸やグリーンランドは、数十万年の間、雪が降り積もってきた氷床で覆われています。氷床を掘削して得られるアイスコアは、過去の地球環境を知る大きな手がかりです。アイスコアの研究において、積雪の堆積率（年間の堆積量(cm/年)）を把握することが不可欠であり、従来、堆積率は、アイスコア中の水の酸素や水素の同位体比から推定されてきましたが、この推定の不確定性を検証する手段はこれまでありませんでした。

南極大陸の上で約2,000km離れたドームふじ地域とドームC地域のそれぞれで掘削された深層アイスコアを対象に、過去21.6万年間の氷に含まれる1,401対の火山噴に起因するシグナルを比較し、2地点間に生じた積雪の堆積率比を、同位体比を用いる方法よりも精密に割り出すことに成功しました。

詳しくはこちらをご覧ください。

[国立極地研究所プレスリリース（2017年2月8日）](#)